

延べ宿泊者数(平成27年1~3月)・・・従業者数10人未満の施設を含む

資料2-⑥

①全宿泊者

単位:人泊

②外国人宿泊者

単位:人泊

県別	年別	1月	2月	3月	合計
富山県	平成26年	200,930	205,320	253,680	659,930
	平成27年	213,100	218,680	256,350	688,130
	対前年比	6.1%	6.5%	1.1%	4.3%
石川県	平成26年	480,020	484,310	601,770	1,566,100
	平成27年	513,790	555,020	711,580	1,780,390
	対前年比	7.0%	14.6%	18.2%	13.7%
長野県	平成26年	1,593,600	1,358,100	1,507,970	4,459,670
	平成27年	1,572,290	1,482,010	1,416,060	4,470,360
	対前年比	-1.3%	9.1%	-6.1%	0.2%
福井県	平成26年	223,050	239,380	288,510	750,940
	平成27年	248,540	263,400	319,810	831,750
	対前年比	11.4%	10.0%	10.8%	10.8%
岐阜県	平成26年	425,240	400,180	485,050	1,310,470
	平成27年	437,480	461,070	562,610	1,461,160
	対前年比	2.9%	15.2%	16.0%	11.5%
静岡県	平成26年	1,498,900	1,389,230	2,022,340	4,910,470
	平成27年	1,582,620	1,581,470	2,136,160	5,300,250
	対前年比	5.6%	13.8%	5.6%	7.9%
愛知県	平成26年	1,132,880	1,141,790	1,432,870	3,707,540
	平成27年	1,238,360	1,252,780	1,466,880	3,958,020
	対前年比	9.3%	9.7%	2.4%	6.8%
三重県	平成26年	681,510	609,310	871,210	2,162,030
	平成27年	705,930	637,080	879,290	2,222,300
	対前年比	3.6%	4.6%	0.9%	2.8%
滋賀県	平成26年	270,790	253,460	383,410	907,660
	平成27年	345,240	348,940	464,650	1,158,830
	対前年比	27.5%	37.7%	21.2%	27.7%
昇龍道9県	平成26年	6,506,920	6,081,080	7,846,810	20,434,810
	平成27年	6,857,350	6,800,450	8,213,390	21,871,190
	対前年比	5.4%	11.8%	4.7%	7.0%
全国	平成26年	33,338,280	32,620,710	40,697,630	106,656,620
	平成27年	34,437,320	34,975,160	41,678,080	111,090,560
	対前年比	3.3%	7.2%	2.4%	4.2%

県別	年別	1月	2月	3月	合計
富山県	平成26年	3,800	5,940	5,830	15,570
	平成27年	8,630	7,980	8,420	25,030
	対前年比	127.1%	34.3%	44.4%	60.8%
石川県	平成26年	17,130	19,410	19,300	55,840
	平成27年	23,710	32,830	40,310	96,850
	対前年比	38.4%	69.1%	108.9%	73.4%
長野県	平成26年	88,770	72,750	40,010	201,530
	平成27年	116,860	117,500	58,970	293,330
	対前年比	31.6%	61.5%	47.4%	45.6%
福井県	平成26年	2,220	2,500	1,510	6,230
	平成27年	1,960	2,570	2,360	6,890
	対前年比	-11.7%	2.8%	56.3%	10.6%
岐阜県	平成26年	26,390	26,260	29,570	82,220
	平成27年	40,000	53,920	57,440	151,360
	対前年比	51.6%	105.3%	94.3%	84.1%
静岡県	平成26年	36,320	41,280	57,280	134,880
	平成27年	74,810	125,710	147,160	347,680
	対前年比	106.0%	204.5%	156.9%	157.8%
愛知県	平成26年	79,990	92,000	113,890	285,880
	平成27年	111,260	145,230	170,270	426,760
	対前年比	39.1%	57.9%	49.5%	49.3%
三重県	平成26年	8,510	8,460	13,860	30,830
	平成27年	13,390	17,600	27,460	58,450
	対前年比	57.3%	108.0%	98.1%	89.6%
滋賀県	平成26年	8,360	12,260	19,280	39,900
	平成27年	16,610	25,110	45,010	86,730
	対前年比	98.7%	104.8%	133.5%	117.4%
昇龍道9県	平成26年	271,490	280,860	300,530	852,880
	平成27年	407,230	528,450	557,400	1,493,080
	対前年比	50.0%	88.2%	85.5%	75.1%
全国	平成26年	2,855,760	3,079,420	3,260,630	9,195,810
	平成27年	3,644,070	4,469,100	4,646,330	12,759,500
	対前年比	27.6%	45.1%	42.5%	38.8%

※従業者数10人未満の施設を含む。

※平成26年速報値、平成27年1次速報値による。

※端数処理の関係で月別の数値の合計と合計値が異なることがある。

H27 1-3月/年計(速報値) の 現 状

静岡県内外国人宿泊者数 H22-H27 H26-27 の比較

総合

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27/H22	H27/H26
1-3月	139,250	89,340	102,960	86,930	123,030	325,720	233.91%	264.75%
4-6月	164,110	27,650	132,940	122,480	191,510		0.00%	0.00%
7-9月	171,990	68,830	145,260	147,360	228,870		0.00%	0.00%
10-12月	125,690	88,290	92,760	140,220	212,760		0.00%	0.00%
年計	601,040	274,110	473,920	496,990	756,170		0.00%	0.00%

中国

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27/H22	H27/H26
1-3月	41,600	28,940	48,360	16,650	42,550	196,230	471.71%	461.18%
4-6月	58,540	7,040	65,250	33,390	71,560		0.00%	0.00%
7-9月	62,230	27,100	83,310	60,510	124,930		0.00%	0.00%
10-12月	31,650	36,500	15,600	37,690	100,460		0.00%	0.00%
年計	194,020	99,580	212,520	148,240	339,500		0.00%	0.00%

タイ

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27/H22	H27/H26
1-3月	6,380	3,720	7,340	8,020	11,000	18,010	282.29%	163.73%
4-6月	8,120	1,070	12,320	12,570	19,670		0.00%	0.00%
7-9月	2,640	4,710	4,770	5,900	9,260		0.00%	0.00%
10-12月	9,490	4,560	11,200	14,660	15,390		0.00%	0.00%
年計	26,630	14,060	35,630	41,150	55,320		0.00%	0.00%

インドネシア

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27/H22	H27/H26
1-3月	—	—	—	1,300	2,290	3,690	—	161.14%
4-6月	—	—	—	4,840	6,650		—	0.00%
7-9月	—	—	—	5,740	4,670		—	0.00%
10-12月	—	—	—	4,570	4,420		—	0.00%
年計	—	—	—	16,450	18,030		—	0.00%

※H25以前の都道府県別データなし

韓国

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27/H22	H27/H26
1-3月	32,800	16,840	6,670	10,120	7,210	8,320	25.37%	115.40%
4-6月	24,770	3,120	6,370	10,680	9,150		0.00%	0.00%
7-9月	25,830	5,900	11,130	12,680	10,100		0.00%	0.00%
10-12月	25,320	7,030	8,360	9,380	8,200		0.00%	0.00%
年計	108,720	32,890	32,530	42,860	34,660		0.00%	0.00%

台湾

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27/H22	H27/H26
1-3月	20,390	11,940	16,560	25,600	28,450	47,250	231.73%	166.08%
4-6月	17,140	6,090	15,760	29,520	40,640		0.00%	0.00%
7-9月	22,690	8,500	14,440	33,560	34,140		0.00%	0.00%
10-12月	14,520	9,080	17,520	30,840	33,970		0.00%	0.00%
年計	74,740	35,610	64,280	119,520	137,200		0.00%	0.00%

アメリカ

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27/H22	H27/H26
1-3月	9,180	7,190	4,370	7,550	7,320	6,000	65.36%	81.97%
4-6月	14,060	3,610	6,830	8,420	8,140		0.00%	0.00%
7-9月	13,740	5,360	7,250	6,840	9,800		0.00%	0.00%
10-12月	12,420	6,250	9,470	9,440	7,580		0.00%	0.00%
年計	49,400	22,400	27,920	32,250	32,840		0.00%	0.00%

マレーシア

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27/H22	H27/H26
1-3月	2,700	1,980	1,230	2,180	3,710	3,490	129.26%	94.07%
4-6月	4,820	610	2,620	3,130	4,190		0.00%	0.00%
7-9月	1,420	1,490	880	1,390	2,290		0.00%	0.00%
10-12月	3,510	2,050	2,150	4,400	6,800		0.00%	0.00%
年計	12,450	6,130	6,880	11,100	16,990		0.00%	0.00%

出典：観光庁「宿泊統計」

外国人宿泊者数 全国と静岡県と比較

◆国・地域別宿泊者数 H27 1～3月（速報値）ランキング◆

全国

	国・地域	H27	H22	H27/H22
1	中国	3,270,310	1,043,410	313.43%
2	台湾	2,176,170	809,340	268.88%
3	韓国	1,590,890	1,081,810	147.06%
4	香港	961,380	485,530	198.01%
5	アメリカ	641,180	613,870	104.45%
6	タイ	550,930	147,470	373.59%
7	オーストラリア	405,620	211,810	191.50%
8	シンガポール	216,550	137,220	157.81%
9	マレーシア	153,690	65,380	235.07%
10	イギリス	146,460	108,360	135.16%

	合計	11,804,290	5,998,950	196.77%
--	----	------------	-----------	---------

静岡県

	国・地域	H27	H22	H27/H22
1	中国	196,230	41,600	471.71%
2	台湾	47,250	20,390	231.73%
3	タイ	18,010	6,380	282.29%
4	韓国	8,320	32,800	25.37%
5	アメリカ	6,000	9,180	65.36%
6	インドネシア	3,690	—	—
7	マレーシア	3,490	2,700	129.26%
8	香港	2,810	4,040	69.55%
9	ベトナム	2,700	—	—
10	インド	2,240	600	373.33%

	合計	325,720	139,250	233.91%
--	----	---------	---------	---------

(件名)

外国人観光客の誘致促進

(静岡県観光振興課国際観光班)

1 要旨

平成 26 年の本県の外国人宿泊客数は、好調な中国、台湾や、近年、訪日旅行需要が高まっているタイ等の下支えされ、約 76 万人と、過去最高を記録した。こうした状況をさらに加速させるため、ムスリム市場等、新たな市場の開拓に取り組むとともに、平成 32 年に開催される東京オリンピック・パラリンピック時に応援等で来日する外国人個人観光客や大会役員、スポンサー等の超富裕層を本県に取り込んでいくことを見据えた誘客活動を展開していく。

2 現状

市場	現 状
韓国	東日本大震災以降、放射能汚染等への危惧や韓国経済の不調等から、本県への訪問者数が大きく減退、いまだ回復し切れていないため、大韓便の運休に加え、アジアナ便も減便するなど、影響が懸念される。
中国	平成 24 年 8 月の国による尖閣諸島の保有により、一時低迷していた訪日旅行需要は完全に回復、昨年度は、天津、寧波の 2 路線が定期便化するなど、極めて好調であり、今後に期待できる。
台湾	親日的であり、政治的・経済的な摩擦が生じる恐れも低く、昨年度の本県宿泊客数は前年度比 115%の 13 万 7 千人と、毎年、堅調に推移している安定性が高い市場である。
タイ	経済成長が著しく、訪日旅行需要も強いいため、本県の宿泊客数は対前年比 134%の約 5 万 5 千人に達するなど、台湾同様好調に推移しており、今後の伸びが期待できる。

3 課題

(1) 外国人宿泊客数の一層の増加

平成 26 年の外国人宿泊客数は順調に伸びたが、平成 29 年の目標値 87 万人達成に向け、平成 27 年度においては、平成 26 年の状況を維持していく。

(2) 安定的な誘客対策

外国人観光客の誘致は、国際情勢に大きく影響される傾向があるため、安定した市場の開発等により、リスクを分散する等の措置を図る。

(3) 個人観光客の誘致

団体ツアーの誘致に加え、東京オリンピック等を活用した誘客を視野に入れ、近年増加傾向にある個人客の誘致に取り組むため、ラグジュアリー(超富裕層)市場開拓や目的志向型商品、オプションツアー商品の造成促進を図る。

4 対応

区分		対応
韓国市場の拡充		<ul style="list-style-type: none"> 健康を切り口とした、目的志向型の旅行商品造成促進し、本県の周遊、滞在を推進していくとともに、将来の伸びが期待できる個人客の誘致に取り組む 高級旅館の宿泊を伴う高級商品の造成を促進していく。 将来のリピーター確保を図るための教育旅行誘致の推進 現地旅行会社に加え、国内ランド・オペレーターを対象としたファムトリップ等を通じた情報提供を行うなど、良好な関係づくりに努める。
中国市場の拡充		<ul style="list-style-type: none"> 天津・北京市場及び浙江省(寧波、杭州)市場を開拓する。 低廉ゴールドルート商品に本県の周遊・滞在中を取り込んでもらえるよう働きかけを行なっていく。 現地旅行会社に加え、国内ランド・オペレーターを対象としたファムトリップ等を通じた情報提供を行うなど、良好な関係づくりに努める。
台湾市場の拡充		<ul style="list-style-type: none"> サイクリング等の目的志向型旅行商品の造成を促進し、本県の周遊、滞在を推進していくとともに、将来の伸びが期待できる個人客の誘致に取り組む。 将来のリピーター確保を図るための教育旅行誘致の推進、特に、近年人気のホースティ受入れに関する調査・調整を執り行う。
タイ市場の拡充		<ul style="list-style-type: none"> 現地観光連絡・調整員を活用した、継続的な旅行会社への情報提供とネットワークづくりに取り組む。 他市場と比較して、旅行商品の購入額が高いことから、高級商品の造成促進を図っていく。 現地旅行会社に加え、国内ランド・オペレーターを対象としたファムトリップ等を通じた情報提供を行うなど、良好な関係づくりに努める。
インドネシア市場の開拓		<ul style="list-style-type: none"> 衛生課と連携を図りながら、ハラル食に適正な食材や調理方法、表示方法等のマニュアルを作成するなどの受入体制の整備を図っていく。 現地旅行会社に加え、国内ランド・オペレーターを対象としたファムトリップ等を通じた情報提供を行うなど、良好な関係づくりに努める。
東京オリパラを活用した誘客	個人客の誘致	<ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック等で数多く来日すると予想される東京イン・アウトの個人客を本県に誘致するため、国内旅行会社やバス会社等に対し、オプションツアー商品の造成の働きかけを行う。 鉄道等の交通機関が販売しているフリーパスや割引チケットなどを活用した、旅行商品の造成促進を行なう。
	ラグジュアリー市場の開拓	<ul style="list-style-type: none"> ラグジュアリー(超富裕層)市場開拓に本格的に着手するため、超富裕層のニーズや行動様式の分析を行うとともに、キーマンの発掘し、関係の構築を図っていく。 ラグジュアリー市場開拓において実績を有している国内先進地に対して、推進体制や具体的な取組み内容等の調査を行う。